

財 務 部

たばこ小売販売許可等にかかる説明会の実施について

平成13年2月20日から23日にかけて、県内のたばこ販売業者等を対象に「たばこ小売販売許可等にかかる説明会」を実施しました。

この説明会は 未成年者へのたばこ販売防止についての徹底を図ること、たばこ小売販売許可に当たっての留意点や無許可自販機の是正等の取組状況の説明等たばこ事業法令の遵守の徹底を図るために開催されました。説明会では沖縄県警察本部少年課から「未成年者喫煙禁止法の改正点」について、財務部から「無許可自販機の改善状況等」「許可申請における留意事項」について説明がなされました。

財務部においては、無許可たばこ自販機の実態調査を踏まえ、無許可たばこ自販機の撤去指導の強化や関係機関の協力の下「たばこ自販機の適正設置及び適正管理の推進」について周知を図ってきており、今後も関係機関と連携を強め、たばこ事業法令等の遵守に努めていくこととしています。



13年2月20日平良市 13年2月21日 石垣市
13年2月23日那覇市

総 務 部

第40回沖縄振興開発審議会開催

省庁再編後初の沖縄振興開発審議会が平成13年1月30日午後、内閣府講堂で開催されました。

沖縄振興開発審議会は、沖縄振興開発に関する内閣総理大臣の諮問機関として内閣府に置かれております。

今回の会合では、まず、事務局から、これまで沖縄開発庁に置かれていた同審議会が、平成13年1月6日の省庁再編に伴って内閣府に置かれることになったこと、中央省庁改革のための整備に関する法律の施行により、委員の構成が、これまでの30名以内から20名以内の構成に変更になったこと等、審議会の新たな構成、体制についての説明が行われました。

引き続き、新会長の互選が行われ、法政大学の清成忠男総長が選任されました。

その後は、清成新会長により議事が進行され、橋本沖縄及び北方対策担当大臣、仲村内閣府副大臣のご挨拶の後、審議会運営規則の改正が原案どおり決定されました。また、事務局から、「平成13年度予算案」と「ポスト3次振計に向けた検討状況」の報告がなされました。

その後の自由討議では、ポスト3次振計に向け今後の沖縄の振興について、委員から「沖縄にIT立国の戦略的な位置づけを与えるように検討すべき」「少子高齢化時代に対応すべく多世代間交流の場としていくことも必要」「沖縄を健康保養地として位置づけ、健康食品産業の振興につなげていくことが必要」「福祉や健康な環境づくりの観点からのインフラ整備が必要」等の意見が出されました。

なお、専門委員会における調査審議の最終報告が総合部会を経て審議会に報告された後、本年7月頃には、審議会として内閣総理大臣に意見具申をする予定になっております。

運輸部

一般貨物自動車運送事業者 (5両未満)への集団指導開催される

運輸部陸運第一課・陸運第二課では、12月4日の中部地区、19日の南部地区と一般貨物自動車運送事業者の5両未満の事業者を対象に集団指導を実施しました。両日とも、夕刻の開始にもかかわらず、代表者及び事務等担当者総勢339名の出席がありました。

当該集団指導は、事業者の指導監督育成の観点に立って、法令遵守事項等の説明会を定期的実施し、事業者はその説明に基づき自主的にチェックを行い、貨物自動車運送事業法及びその他の関係法令の適正な運用を図ることを目的として実施するものです。

管内事業者は平成12年3月末現在、1,069事業者数で、この内、保有車両数5両未満の事業者が710者で(全体の66.4%)占めています。

このため、講習内容として、輸送秩序の維持及び安全確保を図っていくための事業のあり方について、道路運送車両法の一部改正について、整備管理・運行管理及び運転者の指導教育等のあり方について、本年度の規制緩和について、ビデオによる点検・点呼の方法について、監査時の指摘事項について、等を行いました。

最後には、出席者と意見交換を行い集団指導を終了しました。

経済産業部

「平成12年度省エネルギー推進沖縄大会」の開催

沖縄総合事務局では、(財)省エネルギーセンターとの共催により、平成12年度省エネルギー推進沖縄大会を平成13年2月22日(木)に開催しました。

この大会は、省エネルギー意識の一層の高揚を図ることを目的として毎年2月の「省エネルギー月間」に行っているものです。

大会では、エネルギー管理の推進に不断の努力を重ねエネルギーの使用の合理化を図ったオリオンビール(株)名護工場をエネルギー管理優良工場として沖縄総合事務局長表彰するとともに、省エネルギーポスターコンクールの沖縄地区優秀作品として、友寄綾香さん(糸満市立西崎中学校2年)、仲宗根優子さん(沖縄市立北美小学校3年)、伊禮まどかさん(糸満市立西崎中学校3年)、学校奨励賞として糸満市立西崎中学校、また、エネルギー管理功労者として内田正粹さん、野上正巳さん(いずれも電源開発株式会社石川石炭火力発電所勤務)を(財)省エネルギーセンターが表彰しました。

併せて開催されたエネルギー管理者シンポジウムでは受賞者等から、エネルギー管理手法、省エネルギー事例発表等が行われました。



農林水産部

～緑の美ら島づくり～ 「緑の募金」運動がスタート

「21世紀、森林は優しく温かい。ずっとつなげていくために、できることから始めませんか。」を合言葉に、沖縄県における「緑の募金」運動(期間:2月1日～4月30日、主催:沖縄県緑化推進委員会)がスタートしました。

本県では、先の大戦によって森林が大きく荒廃したことから、緑化に対する県民の意識は高く、また、近年の都市化の進展や地球温暖化等により、「緑」を求める要請が一層高まっています。

募金運動の初日に当たる2月1日には、伊良井会長(県議会議長)やミス沖縄が沖縄総合事務局を訪れ、吉田局長から第一号募金の協力を受けました。その後、農林水産部の来間総務調整官ほか担当職員とともにパレット久茂地前での街頭募金で、協力を呼びかけました。

県内の募金目標額は7千万円で、期間中は緑の少年団や林業・緑化関係者による街頭募金をはじめとした募金活動が各地で展開されることになっています。

なお、「緑の募金」は、学校をはじめ、公園や街路の緑化及び緑の少年団の育成、県民の緑化に対する意識の高揚を図るためのPR活動等に活用されることになっていますので、皆様の積極的な募金をお願いします。

